

氏名	山本 晃
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博 甲第 6014 号
学位授与の日付	令和元年6月30日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科 社会環境生命科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	Effects on postgraduate-year-I residents of simulation-based learning compared to traditional lecture-style education led by postgraduate-year-II residents: a pilot study (初期研修医が主導するシミュレーション教育と講義の有効性に関する検討)
論文審査委員	教授 松川昭博 教授 佐藤 勝 准教授 山根正修

学位論文内容の要旨

シミュレーション教育およびピアラーニング(PAL)はそれぞれ、医学教育において効果的な教育方法であるが、その組み合わせの有用性は不明である。本研究は2年目研修医が1年目研修医を指導する上での教育方法として、シミュレーション教育と、講義形式の教育の効果を比較する。

岡山大学病院の76名の初期研修医を対象として、シミュレーション群と講義群にランダム化し、それぞれ1時間の教育プログラムを合計3回行った。テストによる知識評価と、アンケートによる能力と行動変容の自己評価・プログラム評価を行った。

知識の習得に関しては同等の効果であった。能力と行動変容については、いずれもシミュレーション群で有意な改善を認めた。プログラム評価については、シミュレーション群の方がより本プログラムを有意義で継続するべきであると考え、2年目研修医は教員として適切であると考えた。

本研究は2年目研修医が主導するPALとしてのシミュレーション教育が、PALとしての講義よりも、1年目研修医に対してより効果的であることを示唆している。

論文審査結果の要旨

本研究は、2年目研修医が1年目研修医を指導する上での教育手法として、シミュレーション教育と講義形式の教育の効果を比較した。岡山大学病院の1年目初期研修医を対象として、シミュレーション群(38名)と講義群(37名)の2群に無作為にわけ、それぞれ2年目研修医による1時間の教育プログラムを合計3回実施し、テストによる知識評価とアンケートによる能力と行動変容について、自己評価とプログラム評価を行った。その結果、知識習得に関しては、両群間で同等の効果があった。能力と行動変容に関しては、シミュレーション群で有意な改善が見られた。シミュレーションプログラムに対する評価は高く、2年目研修医は教員として適切であるとの結果が得られた。本研究は、シミュレーション教育が講義よりも効果的であること、2年目研修医が主導しても十分な効果が得られることを示した点で価値ある業績と認める。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。